



避難訓練

# 村岡中だより

校長 橋田 誠 司

いよいよ夏休みが終わりました。休みが明けるとすぐに期末テストとなるなど、気持ちが揺れる時期でもあります。時には様々なことを投げ出したくなったり、命に関わるような悩みを持ったりすることもあると思います。そんな時には身近な人に相談をしましょう。そして気持ちが和らぐように考えていきましょう。何よりも命は尊いものです。悩みに大きさはありません。困ったことがあったら、相談してください。

## 夏の大会

全校集会では生徒のみんなとは久しぶりの再会でしたが、みんなそれぞれに大きくなったように感じました。中体連の夏の大会やコンクールでは、精一杯取り組んでいる素敵な姿を見ることができました。真剣に取り組む姿勢からは、結果にかかわらず感動が伝わってきます。

その中から**サッカー部・男子バスケットボール部・陸上部走り幅跳び小竹さんにおいては、県大会出場**を果たしました。努力を積み重ねた素晴らしい結果です。おめでとうございます。

また、「家庭部」は遊行の盆へ「おやじの会」と共に参加し、浴衣姿で踊りを披露しました。毎年恒例となっているので、踊りも堂に入りており素晴らしいものでした。また秋田県の羽後町との交流で、夏休み中に5名の部員が招待されて交流を深めてきました。生徒たちも積極的に参加し、素晴らしい交流となりました。その様子は教育委員会や市役所の方々からも伝えられ、お褒めの言葉をいただきました。



## ポットウーラさん (オリンピックにて)

リオ五輪の選手村の余った食材を使って、一流シェフが貧しい人々に料理を振る舞ったことが話題となりました。3つ星レストランのシェフでもある、イタリア人シェフのマッシモ・ポットウーラさんが2015年ミラノ国際博覧会でのプロジェクトを参考に立ち上げました。

これにブラジル人の一流シェフなどが賛同し、シェフを目指す若者も加わり100名を超える大きな輪となりました。この試みは、大会が終わった後も継続する方向で動いているようです。レストランの名前は「レフェットリオ・ガストロモティーバ」。現在行われているパラリンピックが終わっても、継続できると良いですね。

## 夏の校内研修 授業研究会 & 救急法

夏休みには教職員も教科や学校運営など様々な研究会に参加します。校内でも授業研究では「感性」について積極的な意見交換がされました。救急法では実習を交えた講習会で、講師の先生が緊急時に役に立つ内容で進めてくださいました。9月から生徒たちのために、新たな気持ちで頑張ります。

## お詫びと訂正

学校便りの7月号で、朝の挨拶運動においてボランティアで活動してくださる団体名が「むらおか子ども相互支援会議」となっておりました。正しくは「村岡地区郷土づくり推進会議」です。「むらおか子ども相互支援会議」からも、たくさんの支援をいただいております。訂正してお詫び申し上げます。